

# 商工会議所L O B O (早期景気観測) 調査結果（12月分）

## 業況DIは、感染再拡大により足踏み。

### 先行きも不透明感増す中、慎重な見方

米国・中国向けの生産増が続く自動車関連や、デジタル投資の増加を背景に受注が持ち直している電子部品関連が牽引したほか、巣ごもり消費に下支えされた飲食料品関連が堅調に推移した。一方、新型コロナウィルスの感染再拡大に伴い、宴会需要が減少した外食産業では売上が低迷した。また、Go To トラベルの一時停止を受けて年末年始の予約キャンセルが相次ぐなど、宿泊業を中心に幅広い業種で今後の影響拡大を懸念する声が強まっている。持ち直しつつあった中小企業の景況感は、感染再拡大の影響から足踏みし、業況改善に向けた動きは力強さを欠く。

産業	概況
【建設業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「例年12月から年度末にかけて駆け込みの受注が多くなるが、今年は民間の建築工事の受注がなくなり、道路補修など土木関係の公共工事により売上をカバーしている状況。当社の主力である民間の建築工事の低迷が続ければ、今後の売上減少は避けられない」（一般工事業）</li> <li>「コロナ禍で来年度の設備投資関連の予算を削減する意向の取引先が多く、4月以降の受注を確保できていない。新型コロナウィルス感染収束が見通せない中、大幅に業績改善するような打開策が見つからず、先行きが不安である」（管工事業）</li> </ul>
【製造業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「半導体製造装置関連や自動車検査部品など中国向け製品の需要が伸び、売上は改善した。ただし、先行きが不透明であり、当面は固定費の増加を避けるため、新規採用を見送る予定」（計量器測定機器等製造業）</li> <li>「売上はほぼ前年同月の水準まで回復しているものの、飲食店など取引先によつては受注が減少している。これまで価格転嫁は見送っていたが、採算改善を図るため、今後は主要取引先への販売価格の値上げを行う」（調味料製造業）</li> </ul>
【卸売業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「例年12月は宴会需要による受注が増加するが、忘年会・新年会を自粛する動きにより、売上は悪化。GoTo キャンペーンが一時停止となったことから、先行きについても観光地や飲食店向けの売上が悪化する見込み」（食料品卸売業）</li> <li>「外出自粛などの影響により、冬物の衣料品は前年同月比6割の売上となった。感染再拡大の状況から、春物の引き合いについても前年同月比4割程度と鈍く、今後の業績改善が見通せない」（衣料品卸売業）</li> </ul>
【小売業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「年末のボーナス商戦の時期だが、新型コロナウィルス感染再拡大に伴い来店客数が伸び悩み、売上は悪化。在宅時間の増加からカジュアルウェアの売上が伸びているものの、売上減少分をカバーしきれていない」（衣料品小売業）</li> <li>「例年、年末年始に開催していた大きなイベントや販促キャンペーンなどは新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から見送った。このため、売上にも影響が出る見込み」（百貨店）</li> </ul>
【サービス業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「昼の売上は前年同月を上回るほど好調なもの、宴会を控える動きから夜の来店客数が大幅に減少。営業日を限定し、コストを抑えている」（飲食店）</li> <li>「11月までは GoTo トラベルの効果により、高額な宿泊プランを利用する客が増え、売上・採算ともに改善していたが、同事業の一時停止を受け、年末年始の予約のキャンセルが相次いでおり、先行きは見通せない状況」（宿泊業）</li> </ul>

#### [向こう3ヶ月の見通し]

##### 先行き見通しDIは、▲44.1（今月比+2.0ポイント）

生産回復が続く自動車や電子部品関連の製造業による下支えや巣ごもり消費の拡大が見込まれるほか、補正予算に基づくGoToキャンペーンの延長を受け、一部では個人消費持ち直しへの期待感もうかがえる。一方、新型コロナウィルスの感染再拡大を背景に、消費者のマインド低迷が懸念される中、中小企業においては先行きへの不透明感が増しており、慎重な見方が強まっている。